令和5年度　長崎市立蚊焼小学校　学力向上プラン

【長崎市　第5次総合計画】

「長崎のまちを愛し、新たな時代を生き抜く子どもを育みます」

【めざす姿】

「子どもが長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら新たな時代を強く生き抜く力を身に付けている。」

○G1-1　確かな学力の向上を図ります。

【めざす姿】子ども自らが学び、自ら考え、判断して主体的に行動できる「確かな学力」を身に付けている。

○G1-2　健やかな心と体を育成します。

【めざす姿】子どもが長崎を愛し、やさしく、たくましく生きるための豊かな心や体力を身に付けている。

○G1-3　家庭・学校・地域の連携による教育の充実を図ります。

【めざす姿】子どもが家庭・学校・地域の連携によって健やかに育っている。

○G1-4　安全・安心に学べる教育環境を整備します。

【めざす姿】子どもが安全・安心な環境で学んでいる。

【学校教育目標】

かやきのかがやき

～かしこく・やさしく・きたえる子～

【かしこく】学びの中で、瞳が生き生き輝く子（知）

【重点目標】

全学年：学力テストの平均点を全国（県）を上回る。

【長崎市　第5次総合計画の具現化】

○「書くこと」「話すこと」を中心に、言語活動を意図的に取り入れ、表現力の向上を図る。

○授業において、めあての設定・終末での振り返りを徹底する。

○ICT 機器の活用をはじめ、児童に「個別最適な学び」を保障し、高まりのある「協働的な学習」の実践を行う。

○家庭との連携により、家庭学習の内容の充実と習慣化を図る。

【児童の実態】：令和５年度県の学力調査の考察

≪国語≫

・３年生は、漢字の読み書きや文と文の続き方に注意しながら「書くこと」は身に付いている。一方、設問の読解や情報の関連性に対する考察に課題がある。

・４年生は、ローマ字の読みはしっかりと身に付いている。登場人物の心情を想像することや情報をもとに自分の考えをまとめることに課題がある。

・5 年生は、「話すこと・聞くこと・読むこと・書くこと」の基本的な力は身に付いている。「条件付き作文」に課題がある。（時数・引用・例）

・6 年生は、「話すこと・聞くこと」は身に付いている。必要な情報を見つけ出したり、自分の考えをまとめたりすることに課題がある。

≪算数≫

・３年生では、基本的な計算の仕方等は身に付いている。思考を伴う問題や自分の考えを説明することに課題がある。また「時刻と時間」は復習が必要である。

・４年生は、基本的な計算の仕方等は身に付いている。「数の構成」「文章問題の立式」に課題がある。考え方を図や式を使って説明することに苦手意識がある。

・5 年生では、「数と計算・図形・変化と関係」等基本的な事項は身に付いている。「データの活用」にやや課題がある。

・6 年生では、基本的な計算の仕方は身に付いている。わけを書く、グラフに着目してまとめることについて課題がある。

≪理科≫

・6 年生は、基本的な事項は身に付いている。科学的根拠をもとに事象を説明することや知識と結果予想と関連付けて考えることに課題がある。

≪全体≫

・読解力と表現力の育成がこれからの重点課題である。設問を読んで分かっていること、尋ねていることを整理する力、自分の考えを与えられた条件を満たしながら表現する力、分かったことを他者に説明する力の育成を図っていく。

学力向上のための学校の取組

基礎学力の向上

○計画的なスキルタイムの充実
○読書・音読の習慣化
○辞書を活用する習慣
○言語活動の充実（対話・書く活動を取り入れた学習活動）

学習意欲の向上

○教材や指導法の工夫による楽しい授業作り
○共に学び合う協働学習の実施
○自分の伸びがわかる記録

教師の指導力の向上

○あじさいスタンダードの活用
○校内研究の充実と効果的な校内研修の実施
○児童の実態や発達段階を踏まえた日々の教材研究の充実と情報交換

支援体制

○T・T によるきめ細かな支援体制
○学校サポーターによる学習支援
○特別支援教育支援員の有効な配置

学力向上の基礎となる安全・安心な学校づくり

協働的学習 ⟷ **個別最適な学び**　指導の個別化　学習の個性化

学習環境の整備

○施設の点検、安心・安全な環境整備
○ユニバーサルデザインを意識した教室環境
○学級園・学校園の整備
○清潔な学校

GIGAスクール構想

○情報モラル：情報モラル系統表
○活用スキル：パソコン活用スキル・タイピング練習
○家庭との連携：AIドリル・自主学習

心の教育

○特別な教科「道徳」で豊かな心を育成
○人権教育の充実：いじめを「しない」「させない」「傍観しない」強い心の育成
○キャリアパスポートによる自己肯定感の育成
○平和教育の充実：人間尊重の精神を養う。

生活指導

○学校生活習慣の確立
・元気なあいさつと返事
・はさみ歩き
・無言掃除
・持ち物と履物の整理
・時間を守る

特別支援教育の充実

○校内支援体制の充実と共通認識
○個性の把握と居場所のある学級経営
○個別の支援計画・指導計画の作成と活用
○交流及び共同学習の充実

学校を支える家庭や地域の教育力

生活習慣

○基本的な生活習慣づくり「あはは運動」の推進
（早寝　早起き　朝ご飯）
○家庭生活習慣づくり（「家庭学習の手引き」の活用）
○ゲーム・テレビ・ケータイ等のルール（メディア講習会）
○読書環境づくり

家庭学習の定着

○家庭学習のしおりの活用
○家庭学習の習慣化と記録（AI ドリルの活用等）
○自主学習の推奨と充実
○音読・読書の習慣化と時間の確保

地域の協力

○地域の方々の学校教育への協力
・学校評議員・民生委員・主任児童委員
○地域の安全確保
・子ども１１０番の家（店）登下校の見守り
○子どもを守るネットワーク・育成協議会

地域の教育

○地域行事での道徳性の育成
○PTA 活動への積極的な参加と協力
○総合的な学習・生活科の地域講師の活用
・さつまいも作り・押し花体験
○図書ボランティア（アキステノ）